

RPPC メールマガジン 第 876 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 6 月 16 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

1. R03_定時総会について【重要】

令和 3 年度定時総会については、現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み「書面開催」と致します。

総会関連書類は、会員宛に 6 月 7 日（月）宅配便にて発送致しました。

【注意点】

①議決権行使にあたり、同封の議決用紙にご記入の上、返信用封筒または電子メールに添付する等の方法にてご返信ください。（締切 6 月 17 日）

E-mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※議決用紙をまだ返信されていない方は、締切期日が明日 17 日（木）迄ですので、議案書をご確認のうえ、ご返信ください。

②関連書類は、協議会ホームページにあります「総会関連のバナー」に掲載もあります。

（総会関連書類未着等の場合には、ダウンロードが可能です）

<http://www.rppc.jp/soukai/>

2.NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付致しました。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.港湾局、CNP 形成へ第 1 回検討会開催。年内に初版マニュアル作成

国土交通省港湾局は 6 月 8 日、カーボンニュートラルレポート（CNP）の形成に向けた第 1 回検討会を開催した。今回の CNP 検討会では、これまでの各地域における検討結果も踏まえつつ、CNP 形成の動きを加速化させるために、さまざまな方策の整理に取り組む。

主な検討項目は脱炭素化で港湾が果たすべき役割と CNP 形成に向けた施策の方向

性。さらに具体的な施策を判断したうえでCNP形成計画作成マニュアルの骨子についても整理する。

論点は①港湾周辺地域で官民が一体化できる仕組み、②大量・安定・安価な輸入が不可欠な水素・燃料アンモニアなどに対して港湾が果たすべき役割、③SDGsやESG投資にもアピールする環境面での取組、④世界の脱炭素化をリードするための取組。

2.清水港新興津地区国際物流T、基本設計業務の手続きへ

中部地方整備局清水港湾事務所は今年度に新規採択されている清水港新興津地区国際物流ターミナルの水深15m岸壁延長230m（取付部30m含む、耐震）について、名古屋港湾空港技術調査事務所を通じて基本設計業務の手続きに入っている。岸壁構造の比較や構造形式の検討などを踏まえ、来年度からの工事着手を目指す。整備の対象地区は新興津国際コンテナターミナル第1バース（延長350m）の隣接部で従来、新興津1号護岸とされている地区前面。今年春に港湾計画が改訂になり、同護岸と興津第1地区岸壁と一体的に再編し、水深16m延長280m岸壁×2バース（合計延長560m、耐震）の国際物流ターミナルとして位置付けられた。同事業のうち新規事業評価部会では、1バース分について事業化が適切として、暫定水深15m延長200m（耐震）が事業採択されている。事業内容は岸壁のほか、水深15m泊地やふ頭用地などを整備する。事業期間は3年度～7年度、総事業費78億円を見込んでいる。

3.中部国際空港第2滑走路の早期実現を。議連総会を開催

中部国際空港拡充議員連盟（会長：川崎二郎・衆院議員）の総会が6月4日、衆議院第二議員会館で開かれ、大村秀章愛知県知事や地元経済界の代表が中部国際空港第二滑走路の重要性を訴えて、早期実現を要望した。大村知事らは総会后、与党幹部や赤羽国土交通大臣らに面会し、国による埋立事業の着実な実施と中部国際空港の二本目滑走路の早期整備に向けた要望活動を行った。

水野明久中部経済連合会会長は総会の挨拶で、「中部国際空港は開港から16年目。大規模改修も迫っている中、24時間運営している国際空港として第二滑走路は不可欠。また首都圏、関西圏の臨時空港としてのリダンダンシーの観点、ポストコロナにおける地域経済の成長、リニア、東海環状自動車道全線開通によるスーパーメガリージョンの形成と、実現は地域の悲願」と語り、早期実現に期待を寄せた。

4.北陸地整、令和3年度北陸懇談会開催。社会資本重点計画策定へ

国土交通省北陸地方整備局は6月2日、令和3年度「北陸の明日を考える懇談会」(座長、大川秀雄新潟工科大学学長)を開催した。国の社会資本整備重点計画が見直され、令和3年度から7年度にかけての第5次計画が策定されたのに伴い、北陸ブロックにおいても新たな重点計画を立ち上げる。

同地域を取り巻く社会経済情勢を踏まえたうえで社会資本整備の重点目標と基本戦略を定める。そのうえで近年の状況変化を見ながら考慮すべき事象をとらえて議論を進め、今年の夏中には新たな計画を策定する予定。

※港湾空港タイムス6月14日号から編集

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設(株)

部会員：山田 安彦 日本製鉄(株)

友歳 巖 五洋建設(株)

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団(内) 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////